

AfterコロナWithコロナと市民活動  
～横浜にLRTを走らせる会の活動を振り返り～

NPO法人横浜にLRTを走らせる会  
理事・事務局長 芦川 圭

# 目次

- はじめに（当会の概要）
- コロナ禍対応（Withコロナ）
- コロナの終結（Afterコロナ）
- コロナ禍下の活動
- 市政とのかかわり
- 行政の混乱
- おわりに

# はじめに（当会の概要）

- 特定非営利活動法人（NPO法人）横浜にLRTを走らせる会
- 2003年活動開始（NPO法人格2004年取得）
- 正会員：約20名
- サポーター会員：約70名
- 交通の専門家を含む幅広い立場の人が参加
- 理事長：昨年、栗原正明が急逝。現在空席
- 通常総会：年1回（5月頃）開催
- 理事会：月1回開催
- フォーラム：年2回開催
- News：年2回発行

# コロナ禍対応（Withコロナ） 経緯

- COVID-19：2019年末発生
- 2020年1月以降の変化
  - 2月フォーラム開催（懇親会は中止）
  - 3月理事会中止
  - 4月理事会書面表決（電子メールで表決）
  - 5月通常総会
    - 当初書面表決、会場は最低限の4名で開催
    - 直前でオンライン（Zoom）を併用を決定
  - 6月理事会オンライン開催（オンラインで5名参加）
  - 以降、理事会はオンラインで開催

# コロナ禍対応（Withコロナ） オンライン会議

- 前述の総会で、オンライン開催が滞りなくできた
- 理事会のオンライン開催：比較的順調に移行できた
  - 定款に電磁的方法での表決がすでに盛り込まれていた
  - ICTスキル
    - 理事が比較的パソコンに慣れている
    - 一部の理事のICTスキルがとても高い
    - 全理事の通信環境に問題がなかった

# コロナの終結（Afterコロナ）

- 2023年になり、少しずつコロナは落ち着いた
- リアルでのイベントの開催ができるようになったが、
  - 感染症対策のため、会場の制約が多い
  - 確保に苦勞
- オンライン会議は便利
  - 移動しなくてよい
  - 画面共有など使い勝手がよい



- 理事会：リアル、オンライン交互に開催

# コロナ禍下の活動 フォーラム(1)

- 従前、年2回開催
  - 冬：公共交通フォーラム（横浜の公共交通活性化をめざす会と共催）
  - 夏：LRTフォーラム（主催）
- 2020年冬（2月）はかろうじて開催できた
- 密集回避のため、2020年夏・2021年冬・2021年夏は開催断念
- 2022年2月
  - 当初、リアル開催を予定し、準備
  - まん延防止等重点措置発出のため オンライン開催
- 2022年夏はコロナや準備期間が足りず開催断念

# コロナ禍下の活動 フォーラム(2)

- 2023年2月 公共交通フォーラム、3年ぶりのリアル開催
  - 2023年8月 LRTフォーラム、リアル（オンライン併用）開催
  - 2024年2月 公共交通フォーラム、リアル開催
  
  - リアル/オンライン開催のメリット/デメリット
    - 全国各地から参加いただける
    - 資料代の請求が難しい
    - ICTスキルが開催者・聴講者ともに必要
- 今後検討・検証が必要

# コロナ禍下の活動

## LRT普及活動、視察・まち歩き

- 普及活動

- 写真パネル展示（野毛山動物園・横浜市電保存館）

コロナに伴う会場の都合により開催できず

- 視察・まち歩き

- 連節バス「ベイサイドブルー」試乗
- IKEBUS視察

一部に限られた

# コロナ禍下の活動 情報発信等

- ブログ
  - Facebook
  - LRT News（会報）：年2回
- 継続して実施
- 全国規模の交通関連会議・大会  
開催されれば参加

# 市政とのかかわり

- 市民委員

- 交通政策推進協議会・同協議会のモビリティマネジメント推進部会
- 横浜市地域公共交通会議
  - 今年度それぞれ2回開催（2月末現在）
  - 来年度からこれら複数の会議を「交通計画協議会」（法定協議会）に一本化する模様

- 交通政策担当部局・交通局との意見交換  
コロナ渦以降開催できず

# 行政の混乱

## 市長の交代（政権交代）

- 2021年8月市長選
- 自民党系が実質分裂 → 民主党系当選
- 争点は「交通」ではないが、交代による影響は大きい
  - 前市長はLRTに理解があった
  - 強引なIR（≡カジノ）誘致に批判集中
  - 新市長は交通に詳しくなく…
    - 当会では、候補者アンケートを実施
    - 別候補からは、LRTについて詳細なコメントをいただいた
    - 現市長は、敬老乗車証の完全無料化などを公約にし当選

# 行政の混乱

## LRT導入検討議論

- 前市長がLRTの検討を公約にし、当選（2013年）
- 検討はされたが、実現しなかった
- かわりに、連節バス「ベイサイドブルー」を導入したようだ
- しかし、経緯が我々にもよく分からない
  - 検討結果だけ示される
  - ほとんどの場合、我々が提案したことを検討したのかも分からない

# 行政の混乱

## 連節バス（ベイサイドブルー）

- 利用者低迷
  - コロナ渦とはいえ、利用者が伸び悩んでいる
  - 原因はコロナ渦ではないが、逃げ口上にされる
  - 検討が稚拙としか言えない
  - サービスレベルが低すぎる
    - 表定速度が10km/h以下
    - ルートが連節バスの特性にあっていない
  - BRTと呼んでいないだけでしたが

# 行政の混乱 米軍上瀬谷跡地問題

- 米軍上瀬谷通信施設跡地
  - 国際園芸博覧会（花博）2027年開催
  - 観客・スタッフの輸送計画が稚拙
  - 市はAGTを検討するが、事業者が受け入れず頓挫
  - 現在、バス専用道を検討：シールドトンネルを掘り、隊列走行の自動運転連節バスを導入



出典：(株)横浜シーサイドラインホームページ

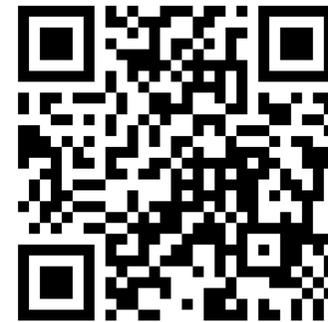
# おわりに

- コロナ渦でも、一部制約があったものの、活動を継続できた
- オンライン会議は有用
  - 理事会等で活用
  - RACDA（岡山）の定例会議が全国規模に発展
    - 全国の関係者・学識経験者が毎週数時間議論
    - 全国路面電車サミット2024宇都宮の開催につながる
- 今後も、当会は、委員会活動・広報をおこない、よりよい交通とまちづくりをめざす

ご清聴ありがとうございました



<http://lrt.cocolog-nifty.com/>



<https://www.facebook.com/YOKOHAMA.LRT>